

(一社) 日本家政学会平成 28 年度第 2 回(通算 464 回) 理事会議事抄録

開催日時：平成 28 年 6 月 11 日(土) 13:30～17:00
開会場所：日本家政学会会議室
出席者：石井会長、大塚副会長、河田副会長、東、天野、今川、久保、定行、杉山、高村、堀内、松本、峯木、森田、安田各理事、香西監事、田島監事

議題

【議案】

1. 入会申し込みについて

大塚副会長より、平成 28 年 4 月 15 日～平成 28 年 6 月 10 日の入会申込者 35 名の説明があり、承認した。

2. 平成 28 年度日本家政学会代議員総会・第 68 回大会について

代議員総会ではすべての議案が決議された。第 68 回大会参加者並びに発表件数について報告された。

3. 平成 29 年度第 69 回大会、および以降の総会・大会開催について

平成 29 年度大会(会場:奈良女子大学)の概要について、高村関西支部長から提案された。石井会長より第 70 回以降の大会開催支部一覧が提示され、承認した。

4. 新年度の課題について

(1) 会長・副会長会からの提案

財政問題を解消するため、経費削減に向けて検討を図ることになった。

第 70 回記念大会について実行委員会を組織し具体的な計画を進めることになった。

ARAHE 日本大会(2017 年 8 月開催)準備進捗状況が報告された。家政学会は香西監事を中心にプログラム作成を担うことが確認された。

合同セミナーの開催計画として、2017 年度には被服学関係部会が大塚副会長を実行委員長とし合同で開催予定であること、2018 年は、「食物と家族」を基本テーマとすることが石井会長より提案された。

刊行事業について、理事会内に刊行委員会を組織し、検討を進めることになった。

東日本大震災生活研究プロジェクトの新規共同研究者を募集することとした。

家族・家庭生活アドバイザー(仮称)検討委員会に日本家政学会理事として大塚副会長、東理事が参画し、日本家政学会としての取り組みの可能性について、継続審議することとした。

理事の人数を検討することとし、同時に選挙方法と規定の見直しも図っていくことになった。

(2) 総務委員会 (大塚副会長)

選挙に関する見直し、議事録の作成、規程について部会との関係で見直しを行う。

(3) 財務委員会 (石井会長)

赤字解消のために、学会誌関係の見直しを行う。

(4) 企画・広報委員会(河田副会長)

活動助成、支部活動活性化サポート事業について取り組む。

(5) HP 委員会 (石井会長)

今期より更新作業等は JP コーポレーションに委託することとした

(6) 国際交流委員会 (天野委員長、香西監事)

3学会の協同により ARAHE2017 を開催するが、最大学会である日本家政学会が中心となり、国際交流委員会が担当する。

(7) 編集委員会 (久保委員長)

6 月 13 日に委員長引継会、19 日に新旧編集委員会を開催予定。部会誌を学会誌に統合する件につき、検討していく。

(8) 刊行委員会 (大塚副会長)

出版企画の検討を進めていくこととした。

(9) 東日本大震災生活研究プロジェクト (石井会長)

前述のとおり。

以上、第 4 号議案に上げられた提案、検討等は、満場一致で承認された。

5. 被服構成学部会の規約改正について

一部文言を削除し改正したいとの提案は、満場一致で承認された。

6. 平成 28 年度活動助成 2 期の募集について

資料に基づき、活動助成内容について説明があり、満場一致で承認された。

7. 平成 28 年度支部活動活性化サポートの募集について

支部活動サポートの内容について説明があり、募集要項を検討した。今年度は提案通りとし、申請受付期間等については、継続審議とすることとした。

8. その他

4 件の協賛依頼があり、承認された。

【報告】

1. 退会申出者及び会員動向

大塚副会長より、報告された。

2. 支部関係

各支部長より、活動実績及び予定が報告された。

3. 国際交流委員会

天野委員長より、国際交流ワークショップ及びプレコンgres参加者募集について報告された。

以上